

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ： 報告数12件、前月比では4.0です。全例が有明からの報告で、そのうち10例が80歳以上の高齢者となっています。同地区に限らず、これから発生動向に注意が必要です。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数2,263件(前月比1.0、前年比1.0)でした。前月比で大きく増減した疾患はありません。RSウイルス感染症は前月比では0.7と減少していますが、前年比では、2.9と例年より高い水準です。流行期にあたりますので注意が必要です。全体の推移としては例年同様です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症：報告数355件(前月比0.7、前年比2.9)と例年になく9月に急増し、10月には減ったとはいえ高水準を維持しています。地域別にみれば、宇城が64件(定点あたり21.3)と突出しています。その他定点あたりでは、菊池11.5(報告数46件)、八代9.3(報告数37件)、熊本8.8(報告数141件)と続いています。一方で、阿蘇からの報告はなく、山鹿3件、御船1件と報告の少ない地区があります。この地域別傾向は近年見られた、それと同じでした。
2. 咽頭結膜熱： 報告数63件(前月比0.5、前年比1.8)です。8月をピークとして減少しています。推移としては例年通りです。
3. A群溶レン菌咽頭炎：報告数120件(前月比1.3、前年比0.6)です。例年同様の推移です。今年は9月が最少で10月に増加に転じたと思われます。菊池(定点あたり4.5)と人吉(同4.0)が多いようです。年齢も6歳が最も多く3歳～7歳と幅広い報告があります。
4. 感染性胃腸炎： 報告数1,006件(前月比1.3、前年比1.4)と例年より早めの増加です。有明204件(定点あたり40.8)、菊池151件(同37.8)、山鹿62件(同31.0)に多いようです。阿蘇(定点あたり2.5)、御船(同4.3)、水俣(同6.5)を除けば、定点あたり二桁の報告です。ほぼ全年齢から報告があります。
5. 水痘： 報告数139件(前月比1.1、前年比0.9)と、推移・報告数ともに例年並です。八代35件(定点あたり8.8)が多いようです。
6. 手足口病： 報告数59件(前月比0.9、前年比0.31)と、今年は低水準で推移しました。菊池17件(定点あたり4.3)が多いようです。
7. 伝染性紅斑： 報告数11件(前月比1.4、前年比0.6)です。昨年秋からの低水準が維持出来ています。県北と天草から少数報告されています。
8. 突発性発しん： 報告数152件(前月比0.8、前年比1.0)と、例年同様大きな動きはなく推移しています。阿蘇・御船を除き県下から定点あたり平均3.2件の報告があります。

9. 百日咳： 報告は2件(前月比0.7、前年比1.0)でした。報告された年齢は、0～5ヶ月1件と15～19歳1件です。人吉と天草から報告されています。
10. ヘルパンギーナ： 報告数58件(前月比0.4、前年比0.7)で、例年同様に減少しています。天草(定点あたり5.0)、人吉(同4.3)以外の流行は収束していると思われます。
11. 流行性耳下腺炎： 報告数100件(前月比1.0、前年比0.4)と、今年始めからの漸減傾向が続いています。宇城31件(定点あたり10.3)、天草24件(同6.0)、に多いようです。ほぼ全年齢から報告されています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数61件(前月比0.9、前年同月1.7)と前月と大差ありません。地区別では熊本43件、菊池7件、有明11件と菊池、有明地区の増加が目立ちます。年齢別では2～6歳の低年齢層での発症は少なく、20～59歳に56%と多発しています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症： 報告数45件(前月比1.5、前年比1.0)で、前月比は増加し、前年比は同数です。男女別は、男性13件、女性32件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～64歳に見られ、女性は15～44歳に見られますが、15～29歳に多く見られます。地域別は、熊本が29件、次いで御船5件、有明4件、宇城3件、人吉2件、八代、天草各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数28件(前月比1.2、前年比1.3)で、前月比、前年比ともには増加しています。男女別は、男性16件、女性12件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20～59歳、女性は30～70歳以上に見られます。地域別は、熊本が22件、八代、宇城各3件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数5件(前月比0.7、前年比1.7)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性3件、女性2件です。年齢別は、男性は20～49歳に見られ、女性は20～24歳に見られます。地域別は、熊本が3件、御船、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数10件(前月比3.3、前年比0.6)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性が9件、女性1件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～64歳に、女性は30～34歳に見られます。地域別は、熊本が7件、宇城2件、有明1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 1件(前月比一、前年比一)の報告がありました。人吉1件で、年齢は25～29歳：1件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 1件(前月比0.5、前年比0.3)の報告がありました。熊本1件で、年齢は5～9歳：1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎：13件（前月比0.8、前年比0.7）の報告がありました。熊本7件、人吉1件、有明3件、天草2件で、年齢は1～4歳：5件、5～9歳：2件、10～14歳：2件、15～19歳：1件、20～24歳：1件、70歳以上：2件でした。
4. クラミジア肺炎：3件（前月比3.0、前年比—）の報告がありました。熊本3件で、年齢は1～4歳：3件でした。

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
21件の報告があり（前月比0.3、前年比0.2）ました。熊本地区から8件（38%）、山鹿3件、阿蘇1件、八代3件、人吉3件、有明3件でした。年齢は高齢者（70歳以上）が多く17件（81%）認められます。また、1～4歳：1件、40～44歳：1件、60～64歳：1件、65～69歳：1件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
2件の報告があり（前月比0.3、前年比2.0）でした。熊本1件、八代1件で、年齢は45～49歳：1件、70歳以上：1件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はありませんでした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症： | 結核：28件 |
| 3類感染症： | 腸管出血性大腸菌感染症：11件 |
| 4類感染症： | 日本紅斑熱：2件 |
| 5類感染症（全数把握）： | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1件
破傷風：1件 |